

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平7-506503

第1部門第2区分

(43) 公表日 平成7年(1995)7月20日

(51) Int. Cl.[°]

B 2 6 B 21/18

識別記号

庁内整理番号

F I

9029-3C

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平5-518846
(86) (22) 出願日 平成5年(1993)4月23日
(85) 翻訳文提出日 平成6年(1994)10月24日
(86) 国際出願番号 P C T / D K 9 3 / 0 0 1 3 7
(87) 国際公開番号 W O 9 3 / 2 2 1 1 2
(87) 国際公開日 平成5年(1993)11月11日
(31) 優先権主張番号 0 5 3 8 / 9 2
(32) 優先日 1992年4月27日
(33) 優先権主張国 デンマーク (DK)

(71) 出願人 ワーナー・ランバート・カンパニー
アメリカ合衆国ニュージャージー州07950,
モーリス・ブレインズ, テーバー・ロード
201
(72) 発明者 ベデルセン, イェッテ・ポールディンク
デンマーク国デーカー-6600 ヴェイエ
ン, ラングスコヴェイ 10
(74) 代理人 弁理士 湯浅 恭三 (外5名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 安全カミソリ

(57) 【要約】

ひげそり装置は、前縁部材と後縁部材とを収容するカートリッジを有する。刃部材の双方は、前方切断縁及び後方切断縁を有する。カートリッジは、後方の切断縁を使用することができるように反転することができる。

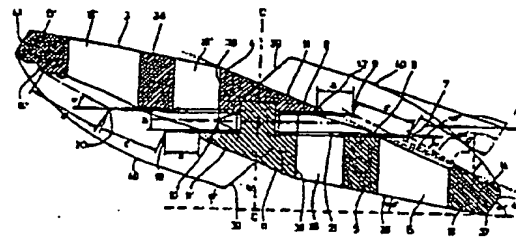


図 解 の 説 明

1. ハンドルと、固定可能な刃のカセット(3)を取り付けるカセットホルダ(2)とを有し、刃のカセット(3)は、チップ部分(4)と台部分(5)とを有し、これらの間に2つの切断線(7)及び(9)を有する長い2つのカミソリ刃(6)及び(8)がしっかりと取り付けられ、前記チップ部分(4)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い位置に配置された接触面(11)と、前記2つの切断線の内の後方の切断線(9)の位置からわずかに偏置した前線(12)とを有し、台部分(5)が前方の切断線(7)の前方に突出しており、その前側に、長手方向端部、若しくは当接部(14)を有し、前記長手方向端部、若しくは当接部は、その端部に位置の接触面(14)を有しており、前記接触面(14)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い位置に配置されており、当接部の背後に、第1列目の切り出し部(15)及び第2列目の切り出し部(21)を有する前方の刃(6)及び後方の刃(8)が配置されており、前記前方の刃(6)及び後方の刃(8)は、2つの切断線(7)及び(9)の間が斜交部(13)に、切断線(7)と接触面(14)の第1の位置部との間の距離が(d)に、切断線(7)と接触面(14)の第1の位置部との間の接触面(14)との角度が(v)に、スぺース(10)によって相互間隔(d)になるように取り付けられている安全カミソリにおいて、2つの刃(6)及び(8)は、2つの切断線(7)及び(9)に対向する側に、さらに2つの切断線(19)及び(20)を有し、接触面(11)及び(14)、距離(a, c, d)、角度(v)及び切り出し部(15)及び(21)によって規定される他の2つの切断線(19)及び(20)を有する刃のカセットの形状は、2つの切断線(7)及び(9)のカセットの形状と同一であり、2つの刃(6)及び(8)は、同じ構造であるが、後方の刃(8)は、前方の刃(6)に関して180°回転した位置で取り付けられ、接触面(14)は、距離部(13)の反対側にチップ部分(4)の各穴に適合する2つの同様なダボ(24)及びチップ部分(4)のダボ(24)に適合する2つの穴(25)を有し、前記2つのダボ(24)は、2つの刃(6, 8)及びスぺース(10)の穴(26)及び(27)を通り、チップ部分(4)は、台部分(5)として固定されるが、台部分(5)に関して180°

のカセット(3)の台部分(5)及びチップ部分(4)の切り出し部の後方端部(38)で終結しており、前記位置は、刃のカセットをカセットホルダ(2)の所定の位置に固定するのに使用されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

4. 接触部分(46)は、台部分(5)またはチップ部分(4)に係合することができるダボ(49)を具備することを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

同様に位置に取り付けられており、取り付けられた状態は、刃のカセット、すなわちチップ部分(4)、後方の刃(8)、スぺース(10)、前方の刃(6)及び台部分(5)の組立体を形成し、刃のカセット(3)は、外側係合面を有しており、カセットホルダ(2)は、刃のカセット(3)をカセットホルダ(2)に固定された第1の位置に及び前記第1の位置に関して中央軸(O)の周りに180°回転した第2の位置に保持することができる内側の制限面を有し、第2の位置において2つの刃(6)及び(8)は、第1の位置と異なるハンドルと所定の角度を形成することを特徴とする安全カミソリ。

2. 各切断線の台部分(5)及びチップ部分(4)は、接触部分(32)を有し、接触部分(32)は、2つの部品を回転して組み立てる部であって、刃のカセットの内側に係合部(33)を有し、係合部(33)は、一方の部分にダボ(34)を有し、他端に切り出し部、若しくは溝部(35)を有し、このダボ(34)及び切り出し部(35)は、チップ部分(4)のダボ(34)が、台部分(5)の切り出し部(35)に係合して固定され及び反転され、その位置でチップ部分(4)の係合部(33)が台部分の係合部(33)と接触するように製造され、固定されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

3. 台部分(5)の距離部が、1つの係合部(36)を有し、前記係合部(36)は、距離部(13)の下縁(37)から切り出し部(16)の接触面(38)に広がっており、係合部(36)は、そこから、他の前方の切断線(19)に向かって傾斜して、ある距離で終結している1つの接触面(11)に接しており、係合部(36)及び接触面(11)の一部は、刃のカセットを通る中央ライン(c-c)に、さらに接触部分(32)の下側に導かれ、接触面(11)と接触している第1の第1の係合部(39)と、傾斜した第2の係合部(40)とを有し、カセットホルダ(2)は、係合部(36)に係合する内側制限面(42)と、刃のカセットの他の係合部に適合する下方の制限面(43)と、刃のカセットの第1の係合部(39)に適合する前方の制限面(44)と、刃のカセット(3)を側方からカセットホルダに押すことができる当接部(13)の位置に固定される係合部(41)に適合する後方の制限面(45)と、カセットホルダの距離部分(46)及び接触部分(47)は、カセットホルダ(2)に取り付けられた刃

明 細 書
安全カミソリ

本発明は、請求項1のプレアンブルで述べた種類の安全カミソリに関する。このような安全カミソリは、DK (Dress Code) プレミアム No. 144460号及び米国特許第3786563号の発明から公知である。

従来の安全カミソリは、一方の側に切断線を1つだけ有するカミソリ刃を使用するように設計されている点に欠点であり、このことは刃のカセットを時々交換しなければならないことを意味する。さらに、すべての従来の安全カミソリは、短寿命構造を有している。

本発明は、カミソリ刃が、両側に1つの切断線と、カセットホルダの内側に固定することができる刃のカセットとを備えており、従って、刃のカセットは、従来の安全カミソリに比べて2倍の寿命を有する、導入部で述べた種類の安全カミソリを提供する。

本発明によれば、この目的は、導入部で述べた安全カミソリが請求項1で述べたプレアンブルに関して独特であるという事項を通して達成される。

これによって安全カミソリのさらに堅固な構造を達成することができ、製造コストの低減を促すことができる。

請求項2は、刃のカセットのチップ部分を台部分に固定する特別の固定方法に関する。

請求項3は、外側係合面を有する刃のカセットと内側の制限面を有するカセットホルダの双方の特別の構造に関し、それによって、刃のカセットをカセットホルダでしっかりと固定することができる。

請求項4は、カセットホルダに比例した所定の位置に刃のカセットを固定することができる特定の装置に関する。

次の図面を参照して本発明の具体的な態様を行う。

第1図は、カセットホルダに刃のカセットを取り付けた本発明に関する安全カミソリの断面図である。

第2図は、第1図に示す安全カミソリ用のカセットホルダを拡大して示す斜視図である。

第3図は、本発明に関する安全カミソリの刃のカセットを拡大して示す斜視図である。

第4図は、刃のカセットの分解図である。

第5図は、刃のカセットの断面図である。

第6図は、刃のカセットの断面図である。

第7図は、本発明に関する安全カミソリのカセットホルダを通る断面図である。

第8図は、刃のカセットを取り付けたカセットホルダを通る断面図である。

第1図から分かるように、安全カミソリは、ハンドル1を有し、このハンドル1は、その前面の端部のカセットホルダ2に回転可能な刃のカセット3が取り付けられている。

第4図及び第5図を参照すると、刃のカセット3は、キャップ部分4と台部分5とを有する。キャップ部分4と台部分5との間に前方に切断面を有する長いかみそり刃6を有し、その後ろにそれと平行に、その背面に切断面を有する後方の長いかみそり刃8が取り付けられている。刃は、スベーク10で、例えば、0.5mmの相互距離を介して保持されている。本体部分4は、ひげそり中に皮膚と接触する接触面11を有するように設計される。接触面11の下端12は、刃8の接触面9と比較して例えば0.63mmだけ後ろに後退している。接触面11は、切断面7及び9を通る平面より低い水準に配置されており、例えば、刃8の平面と23°の角度を形成している。台部分5は、刃8の切断面7の前方に突出しており、その前方に、長手方向の線または当接部13を有し、その後面に接触面14を備えており、その接触面14は、ひげそり中に皮膚に接触するようになっている。また接触面14は、切断面7及び9を通る平面の水準より低い水準に配置されている。当接部13の背後には、第1列目の切り出し部15を有し、そこからある距離隔てて第2列目の切り出し部16がある台部分5が有る。切り出し部15及び16は、長手方向の線部17によって分離されており、また、線部18によって横方向に分離されている。

刃6及び8は、切断面7及び9の間に相互距離c、例えば1.0mmだけ離れた位置に配置されており、線部7と接触面14の第1の接触部分との間に相互距離d、例えば1.20mmだけ離れて配置されている。さらに、刃6及び8は、

dは、線部の双方の間に同一である。

2つの刃6及び8は、一般に設計であり、刃8は、刃に比例して180°回転した位置で刃のカセットに取り付けられている。

キャップ部分4は、台部分5として設計されるが、大部分5に比例して180°回転して刃ブレードカセット3に取り付けられている。

台部分5及びキャップ部分4は、その両端に接触部分32を有する。各接触部分32は、直立した刃のカセットの内側に、互いに関して反転した向きに係合面33を有する。また、接触部分は、一端にデボ34を有し、他端部に切り出し部または溝部35を有する。

刃のカセットの組み立て中に、キャップ部分4の2つのデボ34は、台部分5の2つの切り出し部35と係合して固定され、台部分5の2つのデボ34は、キャップ部分の2つの切り出し部35と係合して固定され、その状態で接触部分32の2つの係合面33が合致する。

第6、7及び8図から分かるように、刃のカセット3は、係合面を有するように製造され、カセットホルダは、カセットホルダ3を保持し、第1の位置並びにカセットの中央軸の周りに180°の回転した他の位置を規定するように製造された内側側面を具備しており、これは、刃6及び8が最初に述べた位置と同じ位置を形成することを意味する。

台部分5を参照すると、前述した係合面は、当接面13の下縁87から、例えば、切り出し部16の後縁部88まで広がる第1の係合面36を有し、図面36は、そこから接触面11に続き、そこから中心線C-Cまで続く。係合面は、図面39及び他の面40に続いて、その双方は接触部分32に形成される。両側の係合面がキャップ部分4の両側側に見られる。当接部13の前方側は、追加の係合面41を具備している。

カセットホルダは、係合面に合致する、内側の上方の側面42と、2つの接触部分32の係合面40に合致する下方の側面43の双方を有する。刃刀において、側面43は、前方の側面44に連続し、係合面39に合致し、その背後で、係合面41に合致する後方の側面45に附いている。

カセットホルダの接触部分46及び接触部分47は、それらが、カセットホル

ダ7と接触面14の第1の接触部の後面を通る平面とある角度α、例えば31°の角度を形成するように取り付けられている。カセットホルダ2は、ハンドル1に組み合うように配置され、また、刃のカセット3は、刃6及び8とハンドルが、所定の角度、例えば65°の角度を形成するように配置する。

線部7の背後に、一列目の切り出し部21を備えた刃8があり、この切り出し部21は、刃のカセット3に取り付けられたときに、台部分5の第2列目の切り出し部16と係合し、切断面9からのひげそりのくずを通過させることができるようにする。ひげそりくずは、台部分5の第1列目の切り出し部15を通過して線部7から放出される。

刃6において、特別に長い切り出し部22を備えた刃の切り出し部21が配置されており、その各々に、切り出し部22と同一の断面形状を備えたデボ23が適用されるようになっている。これらのデボ23は、長手方向の線部17に配置される。

台部分5の切り出し部16の背後で、この線部は、例えば、2つのデボ24及び2つの穴25を有する。キャップ部分4は、デボ24と同じ水準に穴25を、穴25の水準にデボ24を有する。刃6及び刃8及びスベーク10は、穴26及び穴27を有するように製造され、刃のカセットの組み立て中に、その中にデボ24が入れられる。キャップ部分4、刃8、スベーク10、刃6及び台部分5は、カセットの組み立て中にデボ24によって精密に相対位置に配置される。

刃6は、線部7の反対側の長い距離に他の線部19を具備しており、刃8は、線部9に対向する側に他の線部20を具備している。

スベーク10は、刃6及び8の切り出し部21の間に線部28と同じ水準の複数のフィンガ部を有し、これらの各々は、刃8への上方接触面と、刃6への下方接触面とを有する。

切断面9及び20に属する接触面11'及び14'は、接触面11及び14及び刃6及び8との間に存在するものと同じ角度に配置されるように設計されている。切り出し部15'及び16'は、切り出し部15及び16と同じように製造され、それらは、切り出し部15及び16及び線部7及び9との間に存在するよう線部19及び20の相互位置に配置されている。さらに、距離c、c'及び

デ2に取り付けられた刃のカセット3において、台部分5とキャップ部分4の切り出し部16の後縁部38によって形成されるように位置される。両側部分47は、11'の先端部で終結し、線部の部分の接触面48は、接触面11'と同じ向きを有する。図示したように係合部分46は、デボ49を具備しており、このデボ49は、台部分5の穴50と、キャップ部分4の穴50に係合し、刃のカセットを所定位置に固定する。

図示し及び説明した安全カミソリは本発明の一例である。本発明の範囲で他の設計及び構造を適度させてもよい。係合面並びに側面は異なるように製造してもよい。

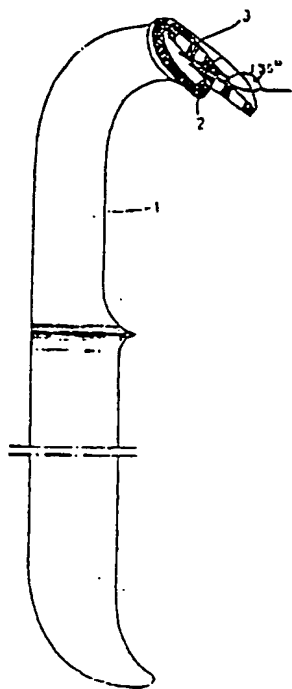


FIG 1

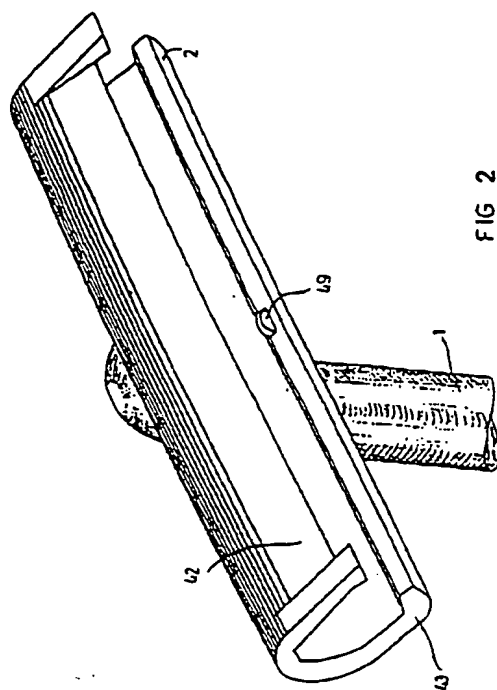


FIG 2

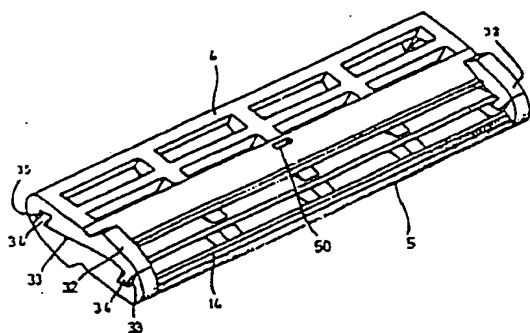


FIG 3

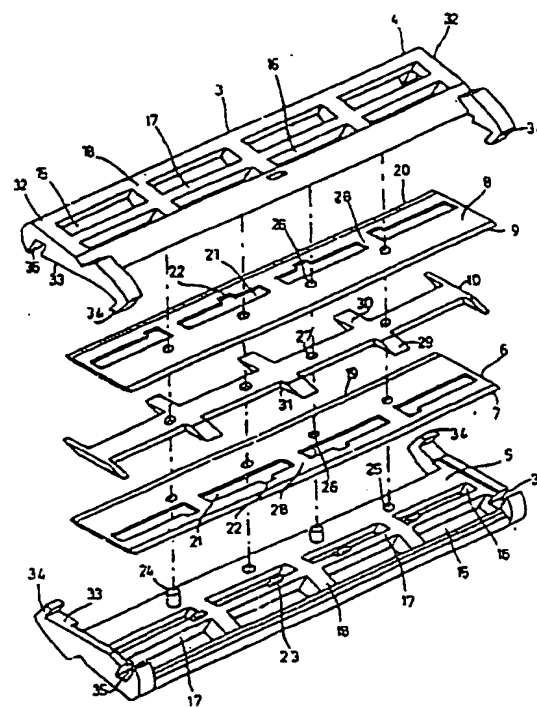


FIG 4

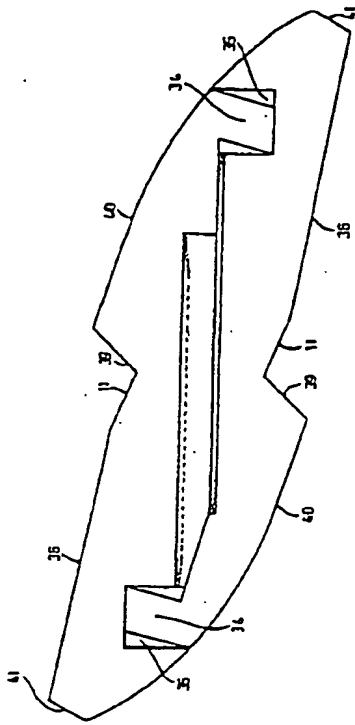


FIG 5

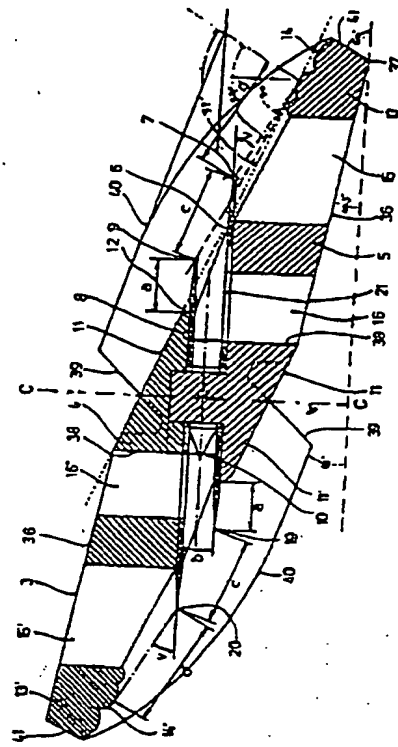


FIG 6

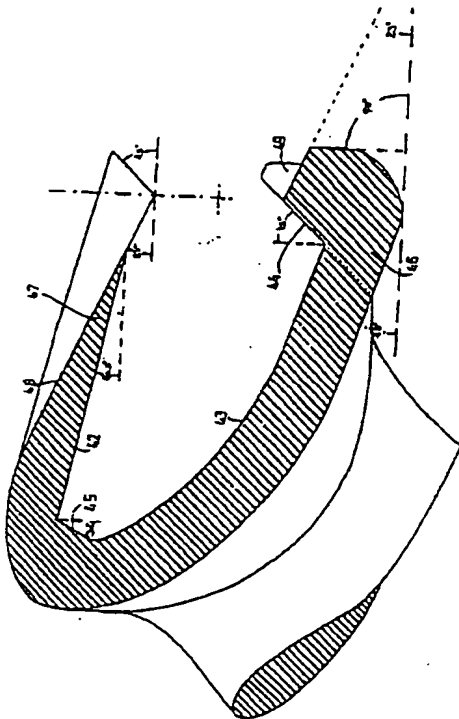


FIG 7

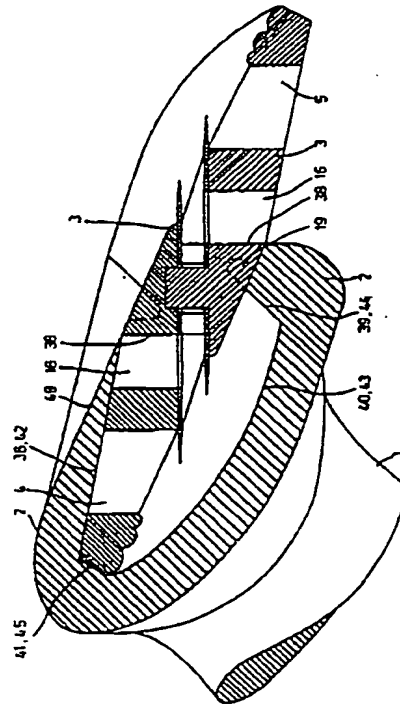


FIG 8

留學與否皆宜

Form FD-302 (Rev. 10-6-95)

Form F-100 (Rev. 1-60) (GSA GEN. REG. NO. 27) (Prescribed by GSA GEN. REG. NO. 27)

フロントページの続き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG
, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN,
TD, TG), AT, AU, BB, BG, BR, CA,
CH, CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, J
P, KP, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL
, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE,
SK, UA, US